

# 音楽と非人間 第二回

## Profile of Players



### 上村 洋一 / KAMIMURA Yoichi

視覚や聴覚から風景を知覚する方法を探り、フィールドレコーディングによる環境音と、ドローイング、テキスト、光など視覚的な要素と組み合わせたサウンド・インスタレーションや、絵画作品、映像、パフォーマンス、電子音響作品などを制作し国内外で発表している。フィールドレコーディングを「瞑想的な狩猟」と名付け、その行為を通して、人間と自然との内的で精神的な繋がりを探求し、近年は、地球温暖化で減少を

続けている北海道知床のオホーツク海の流水のリサーチや、フィンランドの太古氷河の痕跡、アイスランドの氷河などのリサーチを元に制作をしている。8月にブラジル・アマゾンのレジデンス・プログラム LABVERDE に参加予定。



### 八坂 公洋 / YASAKA Kimihiro

長崎県佐世保市出身。カナダ・モントリオールを拠点に活動しているピアニスト。12歳から本格的なピアノの指導を水谷玲子氏に受ける。長崎大学入学後、カナダの名門マギル大学に編入、ピアノ科で学部と大学院共に橋本京子教授に師事。在学中、「若く優れたピアニスト」とニューブランズウィックでのソロリサイタルの際、音楽雑誌等で報じられた。優秀な成績が認められ、ジェフリー・キャンベル奨学金、ルブカ・コレッサ・アワード、エレン・バロン奨学金、そしてヤマハカナダ奨学金を受賞。2014年イタリアで行われた IBLA GRAND PRIZE にて入賞。国内外のマスタークラス / フェスティバルに多数参加し、ギルバート・カリッシュ、ラン・ラン、アンドレ・ラブラント、アンドレアス・ハエフリガー、フィリップ・モル、マキシム・ベンゲロフ、ホカン・ハルデン

ベルガーなどに指導を受ける。これまでに日本、カナダ、アメリカ、イタリアそしてスコットランドで演奏しており、バロックから近現代まで幅広くレパートリーがあるが、特に近現代の曲に力を入れており、演奏は国営ラジオカナダなどに取り上げられている。これまで数々の初演をし、その楽曲はハワイ出版やジェラルド・ビヨード出版、バベル出版ミュージック・フィンランド、カナディアン・ミュージック・センターなどから出版されている。ISME World Conference, Chosen Vale, Arkas, Acces Asie などのフェスティバルや名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学、九州大学、香港中文大学、ゲーテ・インスティテュートなどの教育機関、並びにカナダ政府、日本総領事館などの行政機関にもゲストアーティストとして招待されている。また、現代音楽のスペシャリスト達

からも信頼が厚く、井上郷子 (pf) や Duo Airs などと共演している。近年ではレコーディングアーティストとしても活動しており、1st アルバム「和のかたち」2nd アルバム「モザイク」を日本アコースティックレコードより発売。「和のかたち」はレコード芸術で準特選になった。グラミー賞受賞歴のあるサウンドエンジニア Richard King のプロジェクトの一環でレコーディングを行い、Focal Press/Routledge から出版されている "Orchestra Recording and Other Classical Music Ensembles." にショパンの Op.9 No.2 の録音が使われている。2021年にゲーテ・インスティテュートとノリエントの世界の音楽事情を提供するポッドキャストシリーズ「TIMEZONES」にてモントリオールで活躍する若手現代音楽家の1人としてフィーチャーされる。



### ゼミソン・ダリル / Jamieson Daryl

1980年、カナダのハリファックス生まれ。オンタリオ州ウォータールーにあるウィルフリッド・ローリエ大のグレン・ビューア氏、リング・ケイトリン・スミス氏のもとで最初の音楽的訓練を受けた。その後渡米、ギルドホール音楽演劇学校でダイアナ・パレル氏に師事(修士号)、ヨーク大ではニコラ・レファニュ氏のもとで研鑽を積む(博士号)。文部科学省の奨学生として来日後、東京藝術大学の近藤譲氏に作曲などを学んだ。令和2年度から九州大学芸術工学部で助教。第3回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。ゼミソンの作品は時空間に対する鋭い感覚に支えられている。能や日本の伝統音楽(特に箏)、また日本の詩歌から強い影響を受けており、現在は音楽的時間と歌枕の心理・地理学に深い興味を持っている。代表的な作品に「ヴァニタス・シリーズ」三部作がある。モノオペラ「松虫」(2014年)、音楽演劇「フォーリングス」

(2016年)、和楽器五重奏のための「憂きこと聞かぬところありや」(2017年)がある。他に主要な作品としては、3つの弦楽器四重奏曲「埋木」「warm stones」「monkish fires」、舞踏家・大野一雄氏に献呈された声・琵琶・笙のための三重奏「スベクトル」、二つの大規模な室内楽作品「crystal grapeshot bouquet」及び「con tu sueño en mi sueño」、尺八による協奏曲「鎖されし闇」、短編映画「Goodbye My Son」のサウンドトラック、また声楽と箏のための作品「古代女神に扮した私」などがある。近年ではフィールド・レコーディングへの関心を強めており、2016年にはフィールド・レコーディングとパーカッションのための作品「muons」を作曲。彼の作品はボツィーニ弦奏四重奏団や Musiques Nouvelles、Orchestre National de Lorraine、アンサンブル室町、ピアニストの井上郷子氏、琵琶の上田純子氏、箏の吉澤延隆氏やマクイー

ン時田・深山氏、アルノルト・シェーンベルク室内楽団、ヨーク大学室内楽団などによって幅広く演奏されている。ゼミソンは現在、ミュージック・シアター「工房・寂」のアーティストック・ディレクターを務めている。東京を拠点とした国際的な作曲家集団 Music Without Borders の設立メンバー、また同時に世界中の若手作曲家の作品を、日本の聴衆に届けることを目指して活動するトリオである mmm... の共同設立者・招聘作曲家でもある。日本の伝統的な楽器のために作品を提供し続けている邦楽 2010 および日本現代音楽協会所属。研究活動も並行して活発に行っており、京都学派の美学、現代音楽と精神性に関する論文を執筆中。2018年、第3回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。カナダカウンシル、文部科学省、ヨーク大学などからの受賞、助成多数。

#### アクセス

西鉄福岡(天神)駅  
→西鉄天神大牟田線大橋駅東口  
(電車5分+徒歩5分)  
JR博多駅  
・バス [47, 48, 48-1, 48-2, 60] 大橋駅下車  
(バス20分+徒歩5分)  
・市営地下鉄天神駅下車→西鉄天神大牟田線乗換  
福岡国際空港  
市営地下鉄天神駅下車→西鉄天神大牟田線乗換  
(地下鉄11分+徒歩5分)



後援



九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

本研究は JSPS 科研費 23K00215 の助成を受けたものです